

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すだち道伯			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～	令和 7 年 10 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 名	(回答者数)	20 名 (内きょうだい利用3組)
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～	令和 7 年 10 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 11 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しい・通いたいと思えて、温かみのあるアットホームな空間を提供しているところ。ブレイルームは広くとってあり、活動に適しているところ。	開放的なブレイルームと落ち着いて過ごせる相談室は、自由に出入りできるようにしています。	敷地内にある庭なども活用していきたいです。車いすでの利用がしやすいように、机などの配置を考えていきたい。
2	日々の活動プログラムを固定化しないよう工夫しているところ。支援計画に沿って、子どもたちのできる力を育む支援を行っているところ。	子どもたちが楽しんで取り組めるように、毎日刺激のあるプログラムを考えています。大型のおもちゃなどは、職員が段ボールなどを使って手作りしています。支援についての情報共有を職員間で日々行っています。	子どもたちの特性に応じた活動などを日々考えて、取り入れていきたいです。
3	地域交流では地域の方とクリスマスパーティーやハロウィンパーティーと一緒に楽しむことができているところ。保護者会を開き、親子イベントや懇談会を行っているところ。	地域の店舗との交流を毎年継続できるように、日頃から関わりを大切にしています。保護者会に親子で参加できる内容を考えています。交流会や保護者会の様子をブログなどでたくさんの方に見ていただけるようにしています。	回数を増やすことも検討していきたいです。きょうだいとの交流会も検討していきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービスからの移行など該当する児童がまだいないため、取り組めていません。	中学校や高校へ進学する際に、放課後等デイサービスの利用を終了される方が多いと感じます。	障害福祉サービス事業所などへの移行がない場合でも、必要に応じて対応できるように準備をしていきたいです。
2	第三者による外部評価を行うようにしていきたいです。	外部評価を得る機会が少ないと思います。	業務改善につながるため、行っていきたいです。
3	地域交流や災害時の訓練などを行う曜日が限られてしまっています。	通所後の限られた時間内で行うことが難しいのと、曜日固定で利用されている方が多いため。	学校の長期休暇などを利用したり、回数を増やしていくことも考えていきたいです。